

公園管理シンポジウム

みんなで公園を育てよう！～公園利用とマナー～

公園は、誰でも利用することができるオープンスペースであり、誰もが快適に使いたい場所でもあります。ところが今日、公園は、オープンスペースであるが故のさまざまな問題を抱えており、都市部の公園には、利用上の苦情や、マナーに関する問い合わせが多く寄せられます。

そこで、緑花センターでは、今年度の「公園管理シンポジウム」のなかで、公園利用とマナーについて考えることにしました。

シンポジウムは、日ごろ公園を利用している方をパネリストに招き、10月最後の日曜日、新潟県スポーツ公園カナルで開催しました。

コーディネーター		
高橋 正良	「NPOにいがた水辺の会」世話人 緑花センター花と緑のアドバイザー	会社の近くにある、新潟市松園のじゅんさい池公園を多く利用。また、専門学校の講師として、鳥屋野潟公園を実習時に利用。
パネリスト		
石田 宗雄	新潟市公園愛護連絡協議会坂井輪地区代表理事	平島一丁目自治会として、新潟市より平島公園の管理を受託。公園維持管理を中心に、さまざまな活動を行う。
桑原 由美子	新潟市立山潟小学校教諭	勤務する山潟小学校の学区内に鳥屋野潟公園があり、総合学習や生活科の学習の中で公園での活動を取り入れている。低学年の生活科では、そこで遊んだり活動したりするなかで、自分達とのかかわりを深める。
松田 暢夫	ながたの森活動会	スポーツ公園の東側園地の計画ワークショップ参加。公園完成後も「ながたの森活動会」として維持管理などを行う。この日の午前中もチューリップ数千球を植えた。自宅も鳥屋野潟公園に程近く、プライベートでも多く利用している。
村尾 健治	新潟市南商工振興会会長	鳥屋野潟一周ゴミ拾いウォークラリーをきっかけに活動を始め、現在は、毎年春にスポーツ公園でNIIIGATA スプリングフェスティバルを開催している。地域の人々、子供たちのブラスバンドなどの発表の場でもあります。

パネルディスカッション「みんなで公園を育てよう！～公園利用とマナー」

コーディネーター

テーマは「公園利用とマナー」です。お話をさせていただくのは、私も含め、一般の公園利用者です。日ごろ公園を利用して気づいた点などをお話いただこうと思います。

桑原

学校で利用する時間帯が昼間であり、利用上の問題があまりピンとこないのですが、どういうことがあるのか教えていただけると参考になると思います。

犬の放し飼い

松田

この公園は、犬の散歩には絶好だと思いますが、放し飼いが多くですね。放し飼いをすると、目の届かないところでおしっこをしたりフンをしたりすることもありますし、中には犬が苦手な人もおられるので、やめていただきたいですね。

コーディネーター

公園の中、あるいは町の中でも犬は放し飼いにしてはいけないというのが、これは条例で決まっています。とくに、お子さんを連れているお母さんにとっては、こわく感じられることもあるでしょう。

村尾

マナーよく犬を飼っておられる方がほとんどだと思われまます。ただ、大きくなりすぎたりして手に負えない人がいるようです。

コーディネーター

ミドリガメなどは、大きくなると公園の池に放してしまう事例がありますね。

村尾

カメなどでは、管理者が気をつけていても知らないうちに放されてしまいます。個人の良心にかかっていると思います。

自転車の乗り入れ

松田

この公園では、自転車を乗り入れてはいけないことが条例で決められています。便利で環境にやさしい乗り物なので、公園が自転車乗り入れ禁止というのは行き過ぎに思います。子供たちが普通の道路では自転車に乗れないかわりに公園の中を走るの、公園のもつべき機能でもあります。走っていい道路といけない道路をつくり、その取り決めは、利用者の話を聞きながら行うのがいいと思います。

問題は、乗ることではなく、状況に応じた乗り方をしていないことではないでしょうか。例えばアルビレックスの試合がある時などの混雑時に自転車に乗ることは非常識な行動です。特に試合の後、いっせいに

すごい数の歩行者と自転車が動き出して危険です。帰りは自転車に乗らないで引いていくなどの啓発活動があるといいですね。

駐輪場も必要になります。試合などのイベントの際は、指定されている所をさらに拡大をしたり、分かりやすく表示したりするということが必要だと思います。

コーディネーター

設備の話になってきましたので、公園を管理している新潟県都市緑花センターの大塚理事長さんにコメントをいただきたいと思います。

大塚

国の法律あるいは新潟県の都市公園条例では、基本的に公園区域は自転車乗り入れ禁止になっています。ところが、高校生は通学路として通行しています。また、足の弱い人は自転車で公園を散策します。

この先、部分的に自転車乗り入れ許可区域を設けることと、駐輪場の整備をあわせて考えております。

公共物の盗難・破損

村尾

公園のトイレはきれいに管理されていますが、鏡が割られたり、持ち去られたりで結局つけていないところもあります。公園に備え付けのトイレトペーパーを何個も持っていくこともあるそうです。

石田

平島公園のトイレでは、上から下まで大変な落書きをされたことがあります。鏡やガラスが割られたこともありました。

コーディネーター

備え付けのものを持ち去ったり壊したりすることで多くの人に迷惑がかかります。また、地震や台風など災害時に、公園のトイレはとても大切になります。公共のものを大事にしてほしいと思います。

外来種の問題

コーディネーター

外来種ばかりが植えられているのはどうかという意見が会場の方からありましたが、いかがでしょうか。

松田

新しい空間を創出するということも都市公園の役割のひとつだと考えますが、それが他の物を駆逐するのは不適切です。

桑原

この公園で子供たちを対象にした催しものがあった時に、何種類の植物があるかお聞きしました。さまざまな樹木があることを学びながら、子供たちもかかわっていけるといいと思います。

村尾

自然と人間とがうまく付き合える様な状況をつくっていく中で、残さなければいけないのは残し、また足すものは足すという形で、よくなっていけばいいと考えます。

不法駐車

(会場より)

地域の住民として気になるのは駐車の問題です。ラ・ピアンタの近くに入口がありますが、休みの日などにあの辺りにびっしり車をとめられているのが目につきます。

松田

公園に駐車場がちゃんとあるのに、サッカーコートに近い道路に停める方がいます。特に大会がある日などに多く、交通の支障になっています。その大会サイドでも、駐車場に停めてもらう働きかけと相乗りなどでなるべく自動車の台数を減らす工夫が必要だと思えます。

こどものいたずらを見守る公園？

(会場より)

新潟の牡丹山にある、ポプラ公園に関わっています。地域の子供達が健康に育つ為には、ストレス発散の場所が必要であり、公園は大事な場所だと思っています。本当に危険なことでなければ、いたずらやマナー違反を見てもあまり注意せずに見守っています。

松田

子供達のいきいきとしたイメージが目につかびます。子供は好奇心があつて、いろいろな事をやってみたい。公園を、そういう欲求を満たす場所として機能させる検討も必要かもしれませんね。

マナーよい利用への提案

コーディネーター

さまざまな問題があげられました。どうしたらなくしていけるのか、提案あるいはすでに行っていることのご紹介をお願いします。

松田

難しい問題だと思いますが、子供の頃からの教育、学校教育・過程教育・地域の教育が大切です。公共の物におけるマナー、家と外との区別があると思います。

桑原

学校で公園を利用する場合は、ゴミを拾う時間をつくったり、木の枝を折らないように注意したりします。学校以外の場面で公共物を利用する時や、大きくなった時にも自分で守れるように、日ごろから意識させていくことが大事だと思っています。

村尾

公園の管理者から、マナーよく使っている人に優良利用者認定ワッペンなどを渡す。そうすると、さらに

公園をきれいにしようとか、違反者に注意しようという気持ちがわいてくると思います。注意する際は一人だと被害に遭うこともありますが、優良者が集まれば違反者に注意しやすいと思います。

コーディネーター

実際に、違反者に注意して不愉快な思いをされた経験はありますか。

石田

注意をして、「分かりました」という言葉がすぐに得られず、残念な気持ちになります。

(会場より)

違反者に注意すると、何の権限があってそういうことを言うのかと言う方がいらっしゃいます。小さい違反については、これと一つ決めて注意の権限のおすみつきをもらえば、堂々と注意できるようになると思います。

コーディネーター

警察や管理者に出てきてもらわなくても、利用者の方で意思表示できるような資格や手段が何かあるといいですね。行政と管理者と市民が一緒になって、マナー違反を注意できるような仕組みが必要ですね。